

<https://toyono-jinjikyo.com/>

# YELL 先輩からのメッセージ

～令和5年度（2023年度）初任者研修・新規採用者研修を受講されるみなさんへ～

昨年度、初任者研修・新規採用者研修を受講した先輩からのメッセージです。一年間、子どもと向き合い、自分と向き合ってきたからこそその熱い想いが込められたエールです。

## 小学校

私は一年間の講師経験があり、大学院で二年間学んできたこともあって、多少はできることもあるだろうと甘いことを4月に考えていたことを今も覚えています。もちろん初任者として教壇に立ってからは、そんな考えは打ち砕かれました。去年自分は何をしていたんだろうとか、大学で学んだことは一体何だったのかなどと、大いに考えさせられました。きっと皆さんも似たようなことをこの先考える時が来るのではないかと思います。しかし、自分が真面目に取り組んできたことは、絶対に無駄にはなりません。得た知識や経験がいつか自分を助けてくれる時が来るので、まずは目の前の子どもに注力すればいいと思います。これまでの学びもこれからの経験も、教師としてのキャリアの糧にしてほしいと思います。

## 小学校

覚えることややることがたくさんあって、本当に何から手をつけたらいいかわからず、大変でしんどい思いをすることもたくさんあります。それでも、他の先生方にたくさん助けをもらい、いろいろな行事や仕事を乗り越えることができました。本当に不甲斐ない一年目の先生だったと思いますが、その中でも子どもたちは、「先生いつもありがとう」や、「来年も先生が担任になってほしい」という言葉をかけてくれます。その言葉を聞くと、これからも一つ一つの山をしっかりとふんばって乗り越えて頑張っていきたいなと思います。これから一年大変だと思いますが、自分の心と体を第一に頑張ってください。

## 小学校

担任になることに対して不安に感じている人もいると思います。一年前、私もそうでした。「自分なんか担任とかできひん。」「ほかの先生たちみたいにできるのかな。」と、4月はずっと思っていました。しかし、子どもたちはこちらの「一生懸命」に気づいてくれます。元気な先生が子どもたちは大好きです。授業もすごく不安でしたが、なんとかなります。なんとかしないといけないのです。とりあえず、頑張る気持ちと一生懸命さと子どもたちと学ぶ気持ちがあればなんとかなります。周りの先生方もとっても優しく見守ってください。チャレンジ精神で頑張ってください。

## 小学校

4月、ドキドキで始まりこの一年がどのような一年になるか不安と期待でいっぱいでした。目まぐるしく変わる日々の中でたくさんの壁にぶつかりました。子どものトラブルの解決方法や授業の仕方、自分の中で大学の時に学んだことやボランティアの経験を活かしてとっていたことがなかなか通用しない日々が続きました。その度に、同じ学年の先生に聞いたり、初任者指導の先生に聞いたり、教えていただいたことを実践する日々でした。些細な子どもたちの行動に驚いたり、励ましてもらったりする中で、この仕事のよさを感じると思います。休日はしっかり休むことも大切です。無理をしなくてもいいのかなと思います。自分のキャパを知ることも大切だなと感じました。

## 小学校

振り返ると、子どもたちに成長させてもらった一年間でした。思っているより、ものすごいスピードで成長していく子どもたちに刺激を受けました。授業の準備をするのは正直大変ですが、準備した分だけ、子どもたちから返ってくるものも大きいです。いい反応が返ってくるので、もっと頑張ろう、みんなのいい顔が見たい!と思ってやる気が出てきます。子どもたちのおかげで、研究授業も「早くみんなとやりたい!」と思えるくらい楽しみなものになりました。その授業準備も、自分一人で最初から最後まで考えて準備するのは正直、一年たった今でも難しいです。そういうときに、すぐに相談できるかどうかが大変だと思います。わからないことをすぐに聞けるのが一年目の特権だと思います。わかったふりをしている方が、後からしんどくなります。周りは教育のスペシャリストなので、とても分かりやすく丁寧に何でも教えてくれます。最初は、聞きにくいかもしれませんが、しつこく分るまで聞くって大切だなと感じました。それは、子どもたちでも大人でも変わらないことだなと思います。先輩からも、子どもたちからも、研修でも、同期の人たちからも、誰からも何からも学ぼうとする姿勢が大切です。これからも、学び続けて成長し続けたいと思います。

## 小学校

私がこの一年間で一番心に残っていることは、運動会で見た児童の笑顔です。ダンスの曲を学年の先生で相談して決めた際に、私が推薦した「センス・オブ・ワンダー」に決まりましたが、この歌は、私が教員採用試験の受験に向けて勉強していた頃によく聞いていた曲でもありました。個人的に思い入れのある歌に合わせてダンスをすることになりましたが、当時の自分が思いもよらなかった素敵な環境に恵まれ、可愛い児童が一生懸命笑顔でダンスをしている姿を見て、本当に心から感動しました。コロナ禍の影響もあり、2年生の児童にとっても初任者の私にとっても初めての運動会で緊張もありましたが、最高の思い出ができて「小学校の教員」としての自分を誇りに思いました。私は2年生を担当しましたが、最初は分からないことだらけで「何が分からないかも分からない」という日々が続きました。それでも私がこうして児童とともに充実した時間を過ごせたのは、周りの先生方や保護者の方々、そして家族や友だちの支えがあったからです。不安や後悔もありますが、毎日が楽しくて笑顔の回数が増えたことを度々実感しています。みなさんも、自分の周りの人への感謝を忘れず、前向きに考えながら教員としての人生を楽しんでください。

## 小学校

この一年間で、自分が笑顔でいることが最も大切なことであると実感しました。初めのころは、毎日の授業をすることに必死で心身ともに余裕がなく、子どもたちとの関係もあまりうまくいきませんでした。仕事にも慣れてきて、少し余裕がもてるようになったころ、クラスの児童に「先生、今日めっちゃ楽しそう」と言われました。その一言に、今までの自分はどうかであったかを考えさせられ、自分が余裕をもって笑顔でいることの大切さに気づかされました。その日から、自分が笑顔でいることを意識して過ごしています。そうすることで、子どもたちが積極的に話しかけてくれるようになり、遊びに誘ってくれるようにもなりました。子どもたちとの関係も少しずつ良くなっていったように感じます。子どもたちは、人の表情をよく見て行動していて、自分の表情一つで、子どもたちの行動が変わることが分かりました。これからも笑顔を大切に、子どもたちとともに笑う存在でありたいです。初任者の皆さん、慣れない仕事は大変だと思いますが、一緒に笑顔で頑張りましょう。

## 小学校

先輩教員から、「今、つらいことをして苦勞していると後々自分が楽になるよ」と言われたことがあります。指導案作りや研究授業はとても大変でした。しかし、苦勞して大変な思いをして、分からないことは恥ずかしがらず、なんでも聞けるうちにたくさん質問してください。学んだことすべてが経験になり、将来困った時には自分の経験が活かせることができ、授業も学級経営も問題が起こる前に対処できるようになると思います。私自身、嫌なことやめんどくさいことがあると逃げたくなりますが、この言葉を聞いて、失敗しても恥ずかしくない、今がんばろうと思えるようになりました。クラスの子どもたちはとてもかわいいです。休み時間になるたびに「先生、先生」と言いながら近くに集まってきます。こんなに人に求められる仕事は他にないんじゃないかと思うぐらいです。子どもを見ると辛いことも忘れます。教員生活楽しんでください。

## 小学校

学校で働く中で、自信を無くすことも、悔しいこともたくさん出てくると思います。そんな日々の中で学校へ向かう足取りが重くなる日もきっと出てくると思います。しかし、子どもたちは私たちが思っている以上に先生が大好きです。そんな風に自分の事を心待ちにしてくれる子がいるというのがこの仕事の一番の魅力で、そんな風に思ってくれる子どもたちの為に、色々試行錯誤するのがこの仕事のやりがいだと思います。体と心の健康を第一に、頑張ってください。

## 小学校

いきなり学級を任される責任はとても重く、私は期待より不安の方が大きかったです。何が分からないのか、何が分かっていないといけないのかが分からないので、質問をしたくてもできませんでした。どれだけ不安でも子どもは学校に来るので、毎日がむしろにやるしかありませんでした。子どもが来る前は不安が大きかったのに、不思議なことに子どもが来ると毎日が楽しくて楽しくて仕方がありませんでした。子どもを見て「この子たち天才だ!」と思ったり、一生懸命頑張っている姿を見て「自分も頑張ろう」と思ったり、できなかったことができるように

なった姿に感動したり、毎日こんなに幸せな気持ちになれる教員とはなんて素敵な仕事なんだろうと思う日々でした。ときには悩むことも失敗することもあると思います。しかし、何事も一生懸命頑張っていれば、困ったことがあったときには周りの先生方や保護者の方々、何より、一番近くで見てくれている子どもたちが必ず助けてくれます。失敗や悩みを無駄にせず、ぜひ自分の成長につなげてください。一日一日が本当に一瞬で、あっという間に一年が終わってしまうので、子どもとの時間を大切に、とにかく毎日を楽しんでください！

#### 小学校

教員は、人の人生に関われる幸せな仕事だと思っています。教員の一言が子どもの勇気になったり、輝ききっかけになったり、夢や希望をあたえたりすると思います。そして、それがほかの人に伝わり、社会につながり、人をつなげる。そうすれば、社会がよりよくなるきっかけになるかもしれません。小さなことかもしれないですが、その小さなことがきっと誰かを救い、子ども、保護者、地域を支えることになると思います。辛いことや、大変なことがあると思いますが、あなたがいることによって人生を少しでも幸せに生きることのできる子どもはたくさんいると思います。困ったら、周りの先生方に頼ったり、相談したりしたらいいと思います。いきなり完璧にはできないから、子どもと一緒にゆっくりでもいいから前に進み続けていけるよう頑張ってください。

#### 小学校

この一年間、あこがれてきた仕事に就いて、子どもと毎日をともしてきました。そして、理想と現実の違いに戸惑ったり、失敗をして先輩方に迷惑をかけてしまったりしてきました。しかし、いつも笑顔で受け止めてくれる児童とあたたかく見守ってくださる先輩方に支えられて、ここまで続けて来られたと思います。正直つらい日もありますが、「学習に前向きに取り組んでほしい」、「わかる楽しさを味わってほしい」という願いをもって授業づくりをしてきました。そして、子どもと一生懸命に向き合って、わからないことを素直に聞いて行動に移してきました。その努力を続けたことで、優しさを分け与えて支えてもらうことができたと思います。いつまでも素直に謙虚に丁寧に、子どもとかかわろうと思います。

#### 小学校

初めてもつ学年が1年生ということもあり、1学期はこのままやっていけるのか毎日が不安でした。自分の名前を書けない児童、なかなか席に着いて授業を受けられない児童、すぐに手を出してしまう児童など、たくさんの特性を持った子どもたちがいました。しかし、その子どもたちは、人の気持ちに寄り添える、得意なことでは思いっきり輝ける、一生懸命に物事に取り組めるなどたくさんの素敵な面がありました。大変なことも毎日ありますが、そんな素敵な面に助けられて私は一年間担任をやり通すことができました。みなさんもこれからたくさんの子どもたちに出会おうと思います。苦しいこともあるかもしれませんが、それを救ってくれるのもきっと子どもたちです。私はまだまだ至らない点ばかりですが、これだけは実感をもって言えます。子どもたちの笑顔は、どんなことも吹き飛ばす力があります。自分を信じて、子どもたちを信じて突き進んでください。一年が終わる頃には、このクラスの子どもたちに出会えて本当によかったと、心から思っているはずですよ。

## 小学校

頭の中では、最初はできないことばかりということは分かっていましたが、想像以上の自分の無力さに戸惑うことがよくありました。そんなときに、優しく声をかけてくださる先生方には本当に感謝しています。また、どんなときも私のことを優しく受け入れてくれている子どもたちにも毎日助けられています。今でも私は授業も学級経営も自信はありません。2年目からのことを想像すると不安でいっぱいです。しかし、今年一年「学級通信を週に1回発行し続けたこと」、「毎日全員におはようございますと顔を見て挨拶をしたこと。」の2つは自信をもってやり切ったと言えます。一つでもいいので、決めたことを一年間継続することは大切だと思います。これからの一年、正直しんどいことのほうが多いと思います。しかし、「自分次第で同じ一日が楽しくなる」という言葉を大切に、これから始まる先生としての生活の中に、少しの楽しみや心がホッとする瞬間を見つけていくことを意識するとよいと思います。

## 小学校

私は始業式での子どもたちとの出会いが印象に残っています。始業式の朝、渡り廊下で子どもたちと初めて挨拶をかわしました。子どもたちの表情を見ていると、わくわくした顔の子どももいれば、少し不安そうな顔をした子どももいました。初任者の皆さんはこれからの子どもたちとの生活への期待と、初めての業務への不安があると思います。しかし、それは新学年を迎える子どもたちも同じです。学級は先生一人で作るものではないと思います。先生と同じ気持ちを持った子どもたちと協力すればきっといい学級になると思います。同期の先生方とは、お互いに提出物の確認を行ったり、クラスの様子を語り合ったりしました。初めての環境で働くうえで、同期の先生方は心の支えになり、必要不可欠な存在であるように感じました。皆さんもこれから初任者研修などで、同じ初任の先生方とかかわる機会が多くあると思います。その機会を大切に、お互いに協力できる関係を築いてください。

## 小学校

初めて学級担任を持ち、毎日が慌ただしく過ぎていきました。日々の授業準備や児童間トラブルへの対応、校務分掌や行事の準備などしなければいけないことがたくさん出てきて、悩むことや困ることがたくさんありました。そのときには同じ学年の先生や生徒指導の先生や管理職の先生など多くの先生に支えていただきました。それがあつたからこそ、一年間悩みながらもやりきることができました。子どもたちに日々関わっていると困ったことや悩むことが多く出てくると思います。そのときには周りの先生方にぜひ相談してみてください。快く相談に乗ってくださると思います。自分で悩みや困っていることを抱え込まずに、多くの人に相談してみてください。多くの時間を子どもたちと関わっていくと楽しいと感じる時間や嬉しく思う時間もたくさん出てきます。朝の時間に昨日あったことを聞くと、遠足に一緒に行ったとき、「先生が担任でよかったです。」というお手紙をもらったとき、思えば子どもたちと関わることで自分もパワーをもらい、これからも頑張っていこうという気持ちになりました。みなさんも子どもたちと過ごす一日一日を楽しんでいただけたらと思います。

## 小学校

理想を抱いて教員生活を迎える先生方がたくさんいらっしゃると思います。私自身、こんな先生でありたい、子どもたちとこのように過ごしていきたい、という思いいっぱい4月を迎えました。そんな中、思い描いていたようにうまくいかなかったり、自分の不器用さやできなさに落ち込んだり、悩まされることがたくさんありました。なんとか解決しなければと思い、一人で悶々と悩んでしまうこともありますが、ぜひ同僚の先生方や、研修で会う仲間に話してみてください。私がこの一年を終えることができたのも、たくさん話を聞いてくださる先輩や、一緒に悩める同期のおかげだと思います。一人で抱え込まず、相談を大切にしてください。

## 小学校

一年目は、分からないことも分からないような毎日でした。先輩教員に「今、こんなことを聞いてもいいのかな」と不安に思ったことが何度もありました。しかし、その機会を逃してしまい、「あのとき聞いておけばよかった。」と後悔することがたくさんありました。その経験から、「迷ったらとりあえず聞く。」ということを決めました。「分からない」をそのままにしておく、後で困るのは自分です！一年目は、分からないことがあって当たり前なので、どんどん周りに聞いていき、新たな学びを吸収していくといいと思います。社会人となることへの不安もあると思いますが、必ず周りの存在（家族、先生方、子どもたち）があなたを救ってくれます。自分らしさを発揮しながら、自分のなりたい教師像に向かってがんばってください。

## 小学校

最初は、どんな子どもたちに出会えるのかワクワクドキドキしていましたが、いざ始業式を迎えると正直あわただしい毎日でした。教員という仕事は思っていたよりも大変で、日々をこなすことで精一杯でした。そして、忙しいときに限ってトラブルは起きます。そんなときこそ、私は落ち着いて対応することを心がけていました。何かあっても早めの報告・連絡・相談をすると、必ず先輩教職員が助けてくれます。自分だけで解決しようとせず、小さなことでも周りの人に共有する大切さを感じました。初年度を終えて、今でも授業をしたり人前で話したりすることは緊張します。たくさんの初めてに戸惑うこともありました。しかし、それ以上のやりがいがあると思います。子どもたちの「わかった!」や「できた!」という瞬間に出会えることが、私の喜びであり、やりがいです。そんな子どもたちの瞬間に出会えるように私も教材研究に努めたいです。また新しい学年の担任になったら、また一年目の気持ちで教材研究や学級経営を頑張りたいです。

## 小学校

私は今年一年、何度も失敗し、苦しい思いや自己嫌悪に陥ったことが数えきれないくらいありました。「どうして自分はこんなにできないのだろう。」と落ち込むことが多かったです。そのような中で、初任者としての研究授業が終わった際に、ある先生から「できないことばかりに目が行き過ぎているけれども、必ずできるようになっていることがあるから、そこにも目を向けてみてほしい。」と言っていただき、前向きな気持ちになることができました。みなさんもこれから忙しい日々を送る中で、ぜひ自分の成長している部分を理解しながら、教員生活を過ごしてほしいと思います。

## 小学校

私は講師を経験していたので、同じように講師経験のある初任者の方に伝えたいことがあります。それは、「今までの経験だけではままたならないことがたくさん起きるのが初任者の一年だ」ということです。知らない学校・子どもたち・先生と出会うこの一年は、毎日がわからないことだらけで始まります。もちろん、講師の時の経験が活かされることもあります、それ以上に日々何かしらのわからないことが襲ってきます。そのわからないことに押しつぶされて、「先生に向いていないのかな」、「どうしたらいいかわからない」、「自分には何もできない」と、意気消沈する日もあるかもしれないし、実際に私もそう思う日がありました。しかし、初任者のあなたの周りには助けてくれる先生がいます。わからないことがあれば、聞けば教えてもらえることもありますし、一緒に考えてくれたり、そのことを解決できる先生につないでくれたりする先生もいます。わからないことがわからないといった漠然とした不安も、誰かに話すことができたなら、少しは軽くなるかもしれません。今までの自分の経験ももちろん大切だとは思いますが、最初の一年、悩む前にほかの先生にたくさん聞いて、新しい経験を積める一年にしてほしいと思います。

## 中学校

これから楽しいことも悩むこともしんどいと思うこともあるかもしれません。私自身、2年間常勤講師として教職を経験していたのですが、この1年間は楽しいことよりもたくさん失敗して、逃げ出したくなることの方が多くありました。しかし、時間が経てばどれも経験してよかったと思う事ばかりでした。どんな経験も必ず今後の自分の教師人生や、それ以外のことに活かされることばかりです。また、失敗するたびに、自分が思っているよりも多くの人に支えてもらっていることに気づきました。来年度はそうして支えてくださった先輩の先生方に感謝の気持ちをもって、少しでも成長した姿で恩返しすることが今の目標です。困った時はお互いに支え合いながら頑張りましょう。これから一緒に仕事ができることを心待ちにしています。

## 中学校

講師経験がありましたが、この一年間は本当にあっという間でした。職場の同僚の先生にアドバイスをいただいたり、笑ったり悩んだりとても内容の濃い一年でした。うまくいかず自分の力のなさに嫌になることもたくさんありましたが、その分、生徒と笑えることもたくさんありましたし、生徒が一生懸命に取り組む姿に心温まる瞬間もたくさんありました。先生という仕事だからこそ味わえる感動だと思います。まず自分で考えて取り組み、それでもうまくいかず悩んだ時には、周りの先生に相談することが大切だと思います。自分が困っている時こそ、周りの先生方が助けてくれます。私自身は、何事にもどうしたらもっと良くなるかという意識を常に持ち続け、学び続ける教師でありたいと思っています。

## 中学校

教師は人との出会いがとても多い職業だと思います。そこが大きな魅力です。十人十色の先生方、子どもたちとの出会い、変化する自分を楽しむこと、成長していく子どもたちを見られるなど、苦しい分だけ、温かい気持ちにもなる、そんな仕事です。今、みなさんはどきどきわくわくと、不安と、たくさんの思いが交錯していると思いますが、きっと一年後、新しい自分に出会えているはずです。応援しています！一緒にがんばりましょう！

## 中学校

私は1年間初任者として教師をしてきて、楽しかったことも大変だったこともたくさんありました。教師として頑張るために私が意識していたことを2つ紹介します。1つめは、自分が教師として一番したいことを大切にすることです。教科の面白さを伝えたい、生徒たちの成長に携わりたいなど、様々な思いをもった人がいると思います。私は授業で生徒を楽しく学びに向かわせたかったので、この一年、授業づくりを一番頑張りました。このように自分の教師としての軸を見つけてほしいと思います。2つめは、生徒を信頼することです。学校現場にはいろいろな生徒がいるので、生徒のことで困ることもたくさんあると思います。その中でも、生徒のいいところを見つけて、その力が発揮されると信じることを大切にしていました。生徒を信頼していると、それが自然と表情や態度に表れ、生徒もそれに応えてくれます。教師として働くのは大変だと思いますが、豊能地区で一緒に頑張りましょう！

## 中学校

私は最初、分からないことを「分からない」と言うのがとても恥ずかしいことだと思い、なかなか先輩方に相談することができませんでした。「分からない」と言うことはハードルが高いと感じると思いますが、「分からない」ことをそのままにしている方が子どもにとって、不利益になることが多いと感じました。先輩方に聞くこと、忍耐力をつけること、努力を続けることを大切に頑張りたいと思います。

## 中学校

4月、私は本当に不安でいっぱいでした。周りには社会人を経験していらっしゃる方がたくさんいて自分だけが新社会人なのではないか、社会のことも分からず学校のことも分からないので、迷惑をかけるのではないかと思いながら開講式を受けていました。その不安な気持ちのまま学校が始まり、一週間・一か月・・・と、気づいたらもう一年が経ち、いつの間にか不安な気持ちはなくなり、休みの日は子どもたちに会いたい!と思うまでになりました。毎日分からないことだらけで何をしてもいいかも分からない日が続きましたが、そんな時は先輩の先生方が必ず優しく教えてくださいました。もちろん辛いときもたくさんあります。しかし、どんな辛いことがあっても誰か一人の子どもが笑ってくれると不思議と気持ちが落ち着きました。私が4月に先輩の先生方から言っていた「1年目は失敗した数だけ成長する。」という言葉が心に残っています。いいことがあれば悪いこともある。失敗は成功のもと。私自身もこれらを心に刻みながら、これからも歩いていきたいと思っています。



## 中学校

とにかく忙しい一年間だったと、今年一年を振り返ったとき真っ先に浮かんできました。初任者として迎えた教員一年目、本当にあっという間だったなと感じています。日々の授業や担任業務に始まり校務分掌や学校行事、そして何をやっているのかよく分からない仕事まで...予想以上の仕事量に戸惑う毎日でした。「何をやればいいのか分からない」、「何が必要なのか分からない」、「本当にこのままで大丈夫なのか?」など、様々な不安を抱えたまま一年間が進んでいったように感じます。そんな中でもこの一年間を乗り越えることができたのは、しんどさや大変さ以上のやりがいを感じられたからだと思います。生徒たちの成長を感じられる瞬間に立ち会えたとき、生徒から「ありがとう」と言ってもらえたとき、学校生活の様々な場面で生徒から力をもらうことが多くありました。いつも生徒の存在に支えられていた一年間だったと感じています。初任者として4月を迎えるにあたり不安なことも多々あると思いますが、生徒たちはもちろん同僚の先生方や保護者の方々など、様々な人がみなさんを支えてくれると思います。そこまで気負わず、自分のペースで頑張ってください。

## 中学校

私は講師等の経験もないうちに、この仕事に就きました。4月初めの初任者研修の際に、2年目の先生が「分からないことは聞いたら必ず教えてもらえるから、積極的に聞いたらよいと思います。」とおっしゃっていました。しかし、先輩がおっしゃっていることを理解しつつも、基本的なことから分からないことばかりだった私は、忙しそうにされている先生方に重ねて質問することができないでいました。そんな時、ある一人の先生が「なんでも聞いてくださいね。」と声をかけてくださり、とても心強かったことを鮮明に覚えています。自分が先輩になったときは必ず同じように声をかけようと思え、それから一年が経ちました。私と同じようなことで悩む人がいないように、自分からも声をかけていきたいと思っています。

## 中学校

担任としての一年は、初めて経験することがたくさんあり、気がついたら一日が終わっていたことがほとんどだと思います。仕事の量は多く、多忙な毎日ですが、他の職業よりも一日に笑っている時間は長いと感じています。授業中や休み時間、部活動など生徒と関わる時間には緊張感がある場面もありますが、一緒にいて楽しいと思える関係だと仕事も頑張れると思います。時には、失敗したり、うまくいかず落ち込んだりすることもあると思います。それでも、周りには心配してくれて、困っていたら助けてくれる先輩の先生方がきっといるはずです。日頃から周りの先生とコミュニケーションを取って、自分が全力でやっていたら気にかけてくれるはずです。周りの先輩方も頼ってほしいと思っています。私自身、先輩になったら頼ってほしいと思いますし、そのためにこれから色々経験していこうと思っています。一緒に頑張りましょう。

## 中学校

私は4月から働き始めるまで現場での経験がほとんどなかったため、期待と共に不安でいっぱいの状態で新学期を迎えました。4月からが教員1年目であるだけでなく、社会人1年目でもある自分は、知らないことや、分からないことだらけでした。初任者の中でも、講師経験のある人もいて、自分は働き始めたらしっかりとついていけるのか、不安のほうが大きかったと思います。実際に働き始めてみると、教材研究に追われたり、子どもたちへの対応などがあったり、部活動での指導があたりと、慌ただしく日々が過ぎていきましたが、教材研究は特に時間をかけて行っていました。授業の進め方や声かけなどによっても子どもたちの授業への取り組む姿勢が変わるので、学んだことを色々な方法で実践していくことを意識しました。家庭科の調理実習では、材料や作り方を考え、アレルギー確認、材料の買い出し、材料や器具の仕分けなど、とても準備が多く大変だったのですが、授業の中で楽しそうに調理する様子や、作ったものを食べたときの笑顔を見たときに、とても幸せな気持ちになりました。大変なこともあります、やりがいを感じながら働くことができるので、教師はとても素敵な仕事だなど思うことができました。子どもたちの成長を見守りながら、自分自身も成長していけるように、これからも楽しみながら頑張っていきたいと思います。初任者のみなさんも自分のペースでできることから頑張ってみてください。応援しています！

## 栄養教諭

栄養教諭は職場に一人で、不安な気持ちが常につきまとうと思います。しかし、頼れる同じ職場の先生方、他校の栄養教諭・栄養士の先生方がいて、頑張った分、子どもたちからの反応・成長を近くで見ることができ、喜びとやりがいも大きい仕事です。子どもたちが苦手な食材をどのようにしたら食べてもらえるのかを考えること、食についてどのように子どもに伝えるか、色々試しながら自分なりに考えていく面白さを感じられます。一人職であるからこそ調理員さんや職場の方々、出会う方々とのつながりを大切に、子どもたちが笑顔になれるおいしく楽しい給食を届けられるように頑張ってください。

## 養護教諭

養護教諭は学校によっては複数配置のところもありますが、一人配置のところが多く、春の健康診断の時期や、新一年生保護者とのアレルギー対応面談等、スタートしてからの忙しさに辛くなるかもしれません。判断や対応を失敗できない職種でもあると思いますし、プレッシャーもあるかと思います。私は講師の経験を経たからの採用でしたので、他校の養護教諭とのつながりがあったこともあり、分からないことがあれば連絡を取ることができました。しかし、大学を出てすぐの新規採用者となれば、分からないことをどこの誰に聞いたらいいのか迷うこともあると思います。そんなときは、同職の養護教諭だけに限らず、ぜひ校内の先輩の先生方や管理職に相談してみてください。分からないことをそのままに突っ走るのは危険ですし、焦っているときほど正常な判断ができなくなります。ケガや病気の判断も、専門職だからと一人で抱え込んで判断しなくても大丈夫です。一緒に考え、助けてくれる先生方が必ずいます。助けてもらいながら、教えていただきながらゆっくり成長できたら十分だと思います。一緒にがんばりましょう！

## 養護教諭

はじめは、新しい環境や初めての経験も多く、慣れるまでは不安や戸惑いも少なからずあるかと思います。私も着任当初の4月は不慣れなことも多く、養護教諭としての職務を全うできるのか不安な気持ちが大きかったです。しかし、時間とともに子どもたちや周りの先生方との関わりが増えていくことで、不安は少なくなっていきました。困ったことや分からないことがある時には、ためこんでしまう前に周りの先輩や管理職の先生に相談することが一番だと思います。的確なアドバイスで悩みが解消されたり、いろいろな視点や考え方に触れたりすることで自分の成長に繋げていくことができます。校種や教科に関わらず、子どもの成長を見守り支えることのできる教師の仕事は、とてもやりがいのある素敵なお仕事だと感じます。忙しいと感じることもあるかもしれませんが、教員採用試験の合格通知を受け取った時の気持ちを思い出しながら頑張ってください。また、何より先生自身の心と体の健康を大切に、オンオフの切り替えをしながら、1年目を乗り越えていってください。

## 学校事務職員

1年目は業務を覚えることでいっぱいになります。業務も多岐に渡るので、一個一個ゆっくり順番に覚える時間はありません。とりあえず、訳も分からず仕事をするのが続くと思いますが、したことは必ずメモに取る、そしてまた振り返るというのを繰り返すことで、覚えていくことができます。経験を積むことで、この作業はこういう流れで行われているんだな、この作業の次はこれをやればいいんだなと自然と理解できると思うので、一年目ですべてを覚えようと思わなくても大丈夫だと私は思います。一年目はなにかと大変でしたが、周りに助けを求められるのも最初だけなので、先輩や周りの教職員にたくさん質問や相談をしてください。

## 学校事務職員

学校事務職員は学校に1人か2人がほとんどなので、仕事の大変さを共有できる人がとても少ないです。私は、豊能地区の同期の学校事務職員と研修を通して積極的に関わることで、とても仲良くなることができました。研修について分からないことや不安なことを相談することができますし、同期がどんな業務を担当しているのか、他市との違いも知ることができます。職場では、1年目だとしても事務職員の1人として見られます。最初は分からないことばかりですし、2年目になる私もまだまだ知らないことが多いですが、分からない悔しさをバネに積極的に知ろうとする気持ちをもってほしいです。私は教職員や子ども・保護者のために一生懸命になり、役に立った時の達成感が自分のモチベーションになっています。誰かのために頑張ることのできる素敵なお仕事を一緒にめざせたら嬉しいです。

